Pyrotek

WAVEBAR®

柔軟性のある遮音材

Wavebar®は、高性能で柔軟性のある高密度ビニール製遮音材であり、優れた音響透過損失を備えています。市場の要求を満たすように設計されており、世界中で建物、商業、産業および自動車市場で騒音を減らすために効果的に使用されてきました。

Pyrotek®技術チームは、Wavebar®を高密度で薄く、非常に柔軟で、かつ引裂抵抗と強度を持つように開発しました。これらの特性のおかげで、製品はさまざまな重量範囲において高い透過損失を持つことができます。

石膏ボード、乾式壁、合板、板張りの壁といった固くて軽量なパネル構造では、しばしば、コインシデンス効果による共鳴が発生し、これにより騒音が構造物中に伝わります。コインシデンス効果は、素材の硬さや厚さによって変化し、構造物中を伝わる音がパネルの固有周波数と一致すると発生します。Wavebar®は、コインシデンス効果の周波数を移動させて影響を制限することにより、製品の性能を維持しています。

高密度コア層は、壁、天井および床を伝わる音を反射、 吸収して、機械装置、エンジンノイズおよびラジオやテレ ビなどの電子音声技術が発生する臨界周波数を抑制し ます。

VOC ステートメント

オーストラリアの汚染物質リスト、欧州連合理事会、理事会 指令1999/13/ECまたはUSA EPA 規則 40 CFR 51.100(s)によ り適用する定義に従って評価した結果、Wavebar®には揮発 性有機化合物 (VOC) は含まれていません。

仕様

| 色 | 黒色 | |
|-----------|----------------------------|--|
| パッケージ(標準) | 幅: 1380 mm | |
| | 長さ(直線 m): 5 - 10 m | |
| | 重さ (kg/m²): 2, 4, 6, 8, 10 | |
| | 特別注文は最低発注数量による | |



用途

- ・ 空洞内や軽量壁、天井に使用
- ホームシアタールーム、事務所の仕切り、会議室に最適
- 床スラブのプレナムチャンバー、屋根および隣接している 隔壁の間に使用
- プライバシーを保つためにドアの音を隔離
- 開放した間取りで遮音バリアを作るためのカーテンとして設置
- 乗員まで伝達されるエンジンや道路騒音を削減するため の自動車の車内用途
- 軽量構造のためのラミネート

特長

- 簡単に切ることができ、障害物の間を通すことも容易です パイプ、ダクト、ケーブル等の周りでも柔軟に対応できます
- ほとんどの化学薬品、溶剤およびガソリンに対する耐性があります
- 鉛、臭いのある油分、ビチューメンを含んでいません
- 耐候性や耐紫外線性があります
- 引張り強度が高く、引裂抵抗があります。 最大5メート ルまで吊り下げ可能
- 様々な重量、幅、ロール長さおよびシートサイズで入 手可能
- アルミ箔、金属蒸着フィルム、発泡体およびポリエステルなどの様々なラミネートで入手可能



製品仕様

| 遮音材重量 厚さ | ロール | | | 天井音透過試験 | 作動温度範囲 | | |
|------------------|------------|--------|--------------|------------|---------------------------------|---------------------|--|
| 巡目初里里 (kg/m²) | 厚で (mm) | 幅 (mm) | 長さ (直線 m) | 重量 (kg) | 大开自透過訊線 AMA-1-II-1967 (CSTC) | 1F對//画/支配/出 (°C) | |
| 2 | 1.2 | | 10 | 28 | 44 (報告No. A-22104-0228) | | |
| 4 | 2.0 | | 5または10 | 28 - 56 | 48 (報告No22107-0228) | -40 から 100 (連続) | |
| 6 | 3.0 | 1380* | 5 | 42 | - | -40 から 120 (断続) | |
| 8 | 4.0 | | 5 | 56 | 50 (報告No. 22114-0228) | | |
| 10 | 4.9 | | 5 | 70 | - | | |

許容値: 長さ: -0/+50mm; 幅: -0/+5mm; 厚さ: ±0.5mm; 遮音材重量 <4.5 kg/m² ±0.2 kg/m² ±0.2 kg/m² ±0.4 kg/m²;≥10 kg/m² ±0.5 kg/m² *トリムされていない状態で提供 - ホイル、フィルム、または繊維などの表面被覆が注文された使用可能な幅を突き出る場合があることを意味します

材料特性

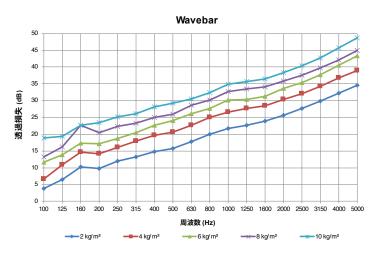
| 試験方法 | 特性 | 報告No. | 結果 |
|-------------------------------------|-------------|-----------|--|
| AS 5637.1 (AS 3837 / ISO 5660-1) | 火災危険性 | PR2/5/6/7 | グループ3 |
| FMVSS-302 | 内装材の可燃性 | 00813BD | 自動車の乗員コンパートメント に対する米国運輸省(DOT)の 要件に準拠 |
| UL94 | プラスチック材の可燃性 | 17592PC | HBF |

音響性能

| 周波数 (Hz) | 2 kg/m² | 4 kg/m² | 6 kg/m² | 8 kg/m² | 10 kg/m² |
|-------------|---------|---------|---------|---------|----------|
| 100 | 3.8 | 6.7 | 11.6 | 13.3 | 18.9 |
| 125 | 6.4 | 10.8 | 13.8 | 16.2 | 19.3 |
| 160 | 10.2 | 14.7 | 17.3 | 22.6 | 22.6 |
| 200 | 9.8 | 14.1 | 17.2 | 20.5 | 23.4 |
| 250 | 12.0 | 16.0 | 18.7 | 22.3 | 25.2 |
| 315 | 13.2 | 17.9 | 20.4 | 23.2 | 26.1 |
| 400 | 14.8 | 19.7 | 22.7 | 25.0 | 28.1 |
| 500 | 15.8 | 20.6 | 24.1 | 26.0 | 29.3 |
| 630 | 17.8 | 22.6 | 26.1 | 28.6 | 30.5 |
| 800 | 20.0 | 25.0 | 27.7 | 30.1 | 32.3 |
| 1000 | 21.7 | 26.6 | 30.2 | 32.7 | 34.9 |
| 1250 | 22.7 | 27.6 | 30.3 | 33.4 | 35.7 |
| 1600 | 23.9 | 28.5 | 31.2 | 34.1 | 36.4 |
| 2000 | 25.6 | 30.4 | 33.6 | 35.9 | 38.4 |
| 2500 | 27.7 | 32.1 | 35.4 | 37.6 | 40.4 |
| 3150 | 29.9 | 34.3 | 37.7 | 39.7 | 42.7 |
| 4000 | 32.2 | 36.7 | 40.6 | 42.1 | 45.7 |
| 5000 | 34.6 | 39.0 | 43.3 | 45.0 | 48.7 |
| Rw | 21 | 25 | 28 | 31 | 34 |
| STC | 21 | 26 | 28 | 31 | 34 |

ニュージーランド、カンタベリー大学において、ISO 15186-1:2003 & 10140-4:2010 について試験されました。

報告番号: 261a, 262a, 263a, 264a & 265a



ISO 15665 パイプ防音性試験

| 製品 | 試験方法 | システム アセ ンブリ | 報告No. | 結果 |
|---------------------------------------|-----------------------------|----------------|----------------------|---|
| Wavebar 6 kg/m² | ISO 15665 (グループ2 パイプサイズ) | ご依頼に応じ て提供 | A 3041-1E- RA-002 | ISO 15665: クラスA2 & B2 NORSOK R-004: クラス6 & クラス7 |
| Wavebar 6 kg/m² & Wavebar 10 kg/m² | ISO 15665 (グループ2 パイプサイズ) | ご依頼に応じ て提供 | A 3041-4E- RA-002 | ISO 15665: Class B2 & C2 NORSOK R-004: クラス7 &クラス8 |

さらに詳しい情報と 連絡先詳細について は、弊社のWebサイト pyroteknc.comをご覧 ください 注意事項・仕様は予告なく変更することがあります。この文書のデータは、独立した研究機関またはメーカーによる試験結果に基づいた平均値の代表例であり、あくまでも目安です。使用目的に対する適正を判断するには、意図した使用条件で材料を試験してください。音響試験結果により得られた結論は、独立認定試験機関が導き出したものです。この文書の記載事項により、購入者またはユーザーが、プロジェクトの必要性に関して製品適定判断の責任を免除されるものではありません。メーカーによって示された子りについては、必ず音響技術者または機械技術者の意見を求めてください、個別のプロジェクトは多岐にわたるため、Pynotek いては、製品の使用結果が異なっても責任を負いません。Pynotek いっされている情報のみに頼った結果生じる損害または間接損害については、責任を負いか出ます。この情報の使用またはこの情報ページが言及する製品、プロセス、または装置の使用が第3者の特許や権利を侵害しないとつ、保証はありません。免責事項:この文書には、Pynotek の標準免責事項、保証およびe著作権条項が適用されます。www.pynotekn.com/disclaimerをご覧ください。



